

急性期・総合医療センター

リスクあり、働き続けられない

2交替制 導入反対

急性期・総合医療センターで、看護師の2交替勤務(夜勤は2勤務分16時間+休憩)の試行が強行されようとしています。2交替制は、1992年に厚生省が容認し、1995年頃から国立病院で導入が始まりましたが、府立の病院では導入させてきませんでした。今回、試行実施がされますが、支部は引き続き看護師確保・労働条件の向上に向けての取り組みを強めます。(総合医療センター支部 支部長 浦出節子)



憩がとれない、休眠が取れない、休みの会議、研修が多いなど、条件を十分改善できていなかったことが、現在の意識状況になっているのかと、組合のとりくみを反省している。私は、当局のメンバーに16時間夜勤を体験させるために、9月から計4回いっしょに泊まった。いつもより忙しい日ではなかったが休憩は30分だったし、当局メンバーは居眠りするし、16時間夜勤の大変さを改めて実感した。当局の講演会で講師先

生が「12時間以上になると危険リスクが高くなり、略町状態と同じだ」といった言葉が忘れられない。実際、当局も夜勤体験で経験したはずである。当局は「夜勤は身体に良くない」と回答している。当然、ILO看護職員条約や夜勤規約には、夜勤規制の国際基準がある。それなのに、日本の看護師は、1日8時間労働から16時間労働に向かうのか?そしてなぜ、当局は容認するのか?当局にとっては経費削減になることは明らかである。看護師の応募が多かった時代には「看護師確保は質の時代に入った」と、看護学校や看護師寮を廃止したり、給与や手当を据え置き、引き下げしてきた。看護師の条件改善をさぼり続けたのは当局である。今回の当局アンケートは2交替導入ありきで、支部は他の勤務形態も含めてアンケートを取るべきだと主張した。2交替でも他の病院は看護師不足に悩んでいる実態を伝えた。この問題を現場の看護師が望んでいるから、ということでは終わらせたくない。どんな勤務形態であれ、働きつづける条件を現実できるような要求でたたかうことが大切であると実感している。支部は、①長時間夜勤は世界的には異例②3交替の改善③2交替試行の条件改善を求めて当局交渉を続けている。全国の仲間や府職労の支部・分会から、当局への抗議・要請FAXや支部への激励FAXをいただいたことに感謝することも、粘り強くたたかう決意である。

護師の条件改善をさぼり続けたのは当局である。今回の当局アンケートは2交替導入ありきで、支部は他の勤務形態も含めてアンケートを取るべきだと主張した。2交替でも他の病院は看護師不足に悩んでいる実態を伝えた。この問題を現場の看護師が望んでいるから、ということでは終わらせたくない。どんな勤務形態であれ、働きつづける条件を現実できるような要求でたたかうことが大切であると実感している。支部は、①長時間夜勤は世界的には異例②3交替の改善③2交替試行の条件改善を求めて当局交渉を続けている。全国の仲間や府職労の支部・分会から、当局への抗議・要請FAXや支部への激励FAXをいただいたことに感謝することも、粘り強くたたかう決意である。

病院当局は、「多様な勤務形態の導入(個人の選択で2交替勤務か3交替勤務かを選べる勤務形態)」と方針で、この9月に病棟看護師へのアンケート実施を組合との合意なく強行した。「2交替をやりたい、やってみよう」という看護師が過半数を超えた病棟は、「2交替試行を検討する」という内容であるが、

一方で8時間でもクタクタなのに16時間夜勤(2交替)はできないという看護師も多い。現在の3交替勤務で、残業が恒常化し、休

た決意表明があり、どの団体も物心両面に支えられ、沖繩の勝利を支える力強いものとなりました。また、この集会では、民意を切り捨てる「衆院比例定数削減」の危険性の報告があり今後多くの人に知らせていくとの取り組みを強化していく確認をしました。アピール採択後、デモ行進し「米軍基地は日本にはいらない」など府民に訴え、声を轟かせました。参加者は1,300人でイハ洋一沖繩県知事候補、稲嶺名護市長から連帯のメッセージが寄せられました。

大阪城野外音楽堂で開催された集会は、沖繩民謡グループによる沖繩民謡の歌声で始まり参加者全員が沖繩県民と連帯し

の意志は、今でも揺らぐことなく「普天間基地を無条件で撤去し辺野古に新しい基地はいらない」という一貫した思いです。このことは、9万人で成功した県民大会や名護市長選挙で基地反対派議員が圧勝したことを見ても明らかです。今度

た決意表明があり、どの団体も物心両面に支えられ、沖繩の勝利を支える力強いものとなりました。また、この集会では、民意を切り捨てる「衆院比例定数削減」の危険性の報告があり今後多くの人に知らせていくとの取り組みを強化していく確認をしました。アピール採択後、デモ行進し「米軍基地は日本にはいらない」など府民に訴え、声を轟かせました。参加者は1,300人でイハ洋一沖繩県知事候補、稲嶺名護市長から連帯のメッセージが寄せられました。

府当局・教育委員会当局と 労働協約を締結 現業評議会



現業評議会は、10月15日に知事と労働協約を、10月20日に教育委員会次長と労働協約に関する覚書をそれぞれ10月1日付けで締結しました。これは、現業職

し半年遅れた。今後はこのような事が無いようにとともに、当局提案の現業に対する技能労働職給料表の適用について、現業職員の生活にかかわる大幅な賃下げであり反対であることを表明しました。そして、賃金問題についても、基本は府労組連交渉事項だが、技能労働職給料表提案については、現評とも別途協議する場面を設けるなど、協約書に基づく協議を申し入れました。



10・23 大阪集會

普天間基地無条件返還 沖繩県知事選勝利! 比例定数削減許すな! 輝け! 憲法9条 日米安保条約廃棄

第19回 府職労海釣り(船)大会

日時: 11月27日(土) 集合 午前4時30分 出船 午前5時30分 釣り方面: 和歌山県加太沖 釣り内容: 船釣り(五目釣り) 参加費: 5000円(貸し竿1000円)

